

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：25項目

問題あり：2件

要確認：3件

問題なし：20件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

1-1. 森英介（もり えいすけ）

- 記載内容：「森英介（もり えいすけ）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、衆議院HP、自民党公式サイト

1-2. 出生地

- 記載内容：「1948年東京都生まれ」
- 検証結果：✗誤り（不正確）
- 正しい情報：「1948年8月31日、東京都千代田区生まれ」
- 根拠・出典：Wikipedia、複数の公式資料で「東京都千代田区生まれ」と明記

1-3. 父の名前

- 記載内容：「森美秀（元環境庁長官）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia

1-4. 選挙区

- 記載内容：「千葉県第11区選出」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：自民党公式サイト、日本経済新聞

1-5. 当選回数

- 記載内容：「通算12回の当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、日本経済新聞（2024年の第50回衆院選で12選）

1-6. 法務大臣

- 記載内容：「第麻生内閣で法務大臣」
- 検証結果：×誤り（表記ミス）
- 正しい情報：「麻生内閣で法務大臣」（「第」は不要）
- 根拠・出典：Wikipedia

1-7. 衆議院憲法審査会長

- 記載内容：「2016年就任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia

1-8. 衆議院政治倫理審査会会長

- 記載内容：「2020年10月」就任
 - 検証結果：✓正確
 - 根拠・出典：Wikipedia
-

2. 数値情報

2-1. 生年

- 記載内容：「1948年」
- 検証結果：✓正確（ただし月日の省略あり）
- 根拠・出典：Wikipedia「1948年8月31日生まれ」

2-2. 第50回衆議院選挙

- 記載内容：「2024年10月」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、日本経済新聞（2024年10月27日投開票）

2-3. ウクライナ決議

- 記載内容：「2022年2月に衆議院本会議で採択」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：衆議院公式サイト（2022年2月8日採択）

2-4. ウクライナ決議の採択日

- 記載内容：「翌2月8日に衆議院で全会一致可決」
- 検証結果：△要確認
- 注記：決議は採択されたが「全会一致」については日本経済新聞の記事で「れいわ新選組は賛成しなかった」との記述あり。正確には「全会一致」ではなく「多数決で可決」
- 根拠・出典：日本経済新聞2022年2月8日記事

2-5. 工学博士取得年

- 記載内容：「1984年に名古屋大学から工学博士の学位を取得」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia

2-6. 初当選

- 記載内容：「1990年に初当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia

2-7. 川崎重工業入社年

- 記載内容：「1974年、川崎重工業に入社」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia

2-8. 政治資金（2020年分）

- 記載内容：「2020年分収入：約2,000万円、支出：約1,800万円」
- 検証結果：△要確認
- 注記：元文書に記載されている数字だが、公開資料での直接確認ができず
- 根拠・出典：原文書の記載のみ

2-9. 酪政会総会の出席者数

- 記載内容：「与野党含め衆参38名もの国会議員が出席」（2025年1月）
- 検証結果：△要確認
- 注記：具体的な公開情報源で確認できず
- 根拠・出典：原文書の記載のみ

3. その他の重要な事実関係

3-1. 麻生派所属

- 記載内容：「麻生派（志公会）に所属」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：日本経済新聞、Wikipedia

3-2. 日本・ウクライナ友好議員連盟会長

- 記載内容：「会長を務める」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：日本経済新聞、西日本新聞、Wikipedia

3-3. ウクライナ決議の提出者

- 記載内容：「森議員は筆頭提出者」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：衆議院公式サイト「森英介君外六名提出」

3-4. 自民党憲法改正推進本部長

- 記載内容：「2015年には党憲法改正推進本部長に就任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia

3-5. シルバー人材センター活性化議員連盟会長

- 記載内容：「会長として」活動
- 検証結果：✓正確（元文書の記述と整合）
- 根拠・出典：原文書

3-6. 酪政会（酪農政策議員連盟）会長

- 記載内容：「会長を務め」
- 検証結果：✓正確（元文書の記述）
- 注記：公開情報源での直接確認は困難だが、原文書に詳細な記述あり
- 根拠・出典：原文書

3-7. 東北大学卒業

- 記載内容：記述なし（記事では言及されていない）
- 検証結果：－（記事に記載なし）
- 参考情報：Wikipedia等では「東北大学工学部金属加工学科卒業」

3-8. 2015年永年在職議員表彰

- 記載内容：記事では言及なし
- 検証結果：－
- 参考情報：政治家を追えサイトで「2015年2月永年在職議員として衆議院より表彰」との記載あり

改善提案

修正が必要な箇所

1. 出生地の修正

- 現在：「1948年東京都生まれ」
- 修正案：「1948年8月31日、東京都千代田区生まれ」
- 理由：より正確な情報を記載すべき

2. 法務大臣の表記修正

- 現在：「第麻生内閣で法務大臣」
- 修正案：「麻生内閣で法務大臣」
- 理由：「第」は不要

3. ウクライナ決議の可決状況

- 現在：「翌2月8日に衆議院で全会一致可決」
- 修正案：「翌2月8日に衆議院で可決」または「翌2月8日に衆議院でれいわ新選組を除く会派の賛成多数で可決」
- 理由：日本経済新聞の報道によれば「れいわ新選組は賛成しなかった」とあり、厳密には全会一致ではない

追加確認が推奨される情報

1. 政治資金の具体的金額（2020年分収入・支出）

- 千葉県選挙管理委員会の公開資料で原典確認を推奨

2. 酪政会総会の出席議員数（2025年1月の38名）

- 公式発表や報道資料での確認を推奨

3. 酪政会会長就任の時期と経緯

- より詳細な公開情報源での確認を推奨

その他の注意点

- 記事全体として、元のPDF文書の内容をほぼ忠実に再現しており、大きな事実誤認は少ない
- ただし、一部の具体的な数値や役職については、公開情報源での確認が困難なものがある
- 元文書自体が参考資料として複数の情報源を挙げているが、一部の主張については原典の直接確認が必要

総評

記事の固有名詞や主要な事実関係はおおむね正確です。最も重要な修正点は出生地の詳細（「東京都」→「東京都千代田区」）と、法務大臣の表記（「第麻生内閣」→「麻生内閣」）、そしてウクライナ決議の可決状況（「全会一致」の表現）です。

その他、政治資金や議員連盟の詳細な活動については、元文書の記述をそのまま引用している部分が多く、これらについては公開情報源での追加確認が望ましいと考えられます。